競 技 上 の 注 意　＜学校対抗戦＞

福岡県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部

1．競技は、現行の（財）日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」に準ずる。
2．３組の点取り対抗戦とし、２点以上を先に得たチームを勝ちとする。ただし、各学校の初戦は２点先取しても３番目のマッチを行う。また、マッチは７回ゲームとする。
3．進行の都合により、２面または３面を同時に使用して競技を行うことがある。
4．ベンチは審判台から見て左側を組合せ表の小さい番号とする。
5．アンパイアー（正審・副審）は、原則として各コートの第１試合は指定審判とし、第２試合以降は前の試合の敗者が行うものとする。
6．サービス（レシーブ）とサイドの選択は、マッチごとに行うものとする。但し、進行の都合により対戦前のチーム同士の挨拶の際、３組までを同時に行うことがある。この場合は、競技委員長が指示するものとする。
7．進行がスムーズに行えるよう、次の事項を守ること。
（１）マッチ前の練習は１分までとする。但し、進行によって行わないこともある。
（２）連続的にプレーすること。パートナー同士の打ち合わせは、マッチの進行に支障がある場合は認めない。（規則第１５条）
（３）監督及び控えの選手は、対戦中の応援も含めて、必ず指定位置（ベンチ）で待機すること。但し、トイレ等やむを得ない理由は除く。
（４）プレーヤーはボールの落下点を確認するためネットおよびネットの仮想延長上を超えてはならない。また、自陣の前であっても落下点に近寄らないこと。　（規則第４０条解説１７－２）
8．マッチ中、互いにマナーを尊重すること。相手を不快にする発声や過度のかけ声は禁じられている。（規則第１５条）
9．アンパイヤーに対する意義の申し立ては認めない。　（規則第４０条）
10．マッチ中のコーチは、サイドチェンジおよびファイナルゲームに入る場合のみ、１分以内において認められる。
11．コーチする者は、フェンス内の指定位置（ベンチ）に入ることができるが、その場合は、次の事項を守らなければならない。
（１）指定位置（ベンチ）に入る者は１名とし、プレーヤーが在学する学校の学校長が認めた者とする。
（２）コーチは指定位置（ベンチ前）で競技規則に従って行うこと。
（３）マッチ終了前に指定位置（ベンチ）を離れた場合は、戻ることはできない。
（４）監督章を必ず付け、テニスシューズを履くこと。
（５）コート外からのコーチングは一切認めない。
12．選手の組み替えは、参加申込で登録した最大８名の選手の中でのみ認められる。
13．競技用具及び服装等については、次の条件を守ること。（公認メーカーはハンドブックに記載）
（１）ユニフォームは、連盟が公認したメーカーのテニス用品を着用する。
（２）シューズは、連盟が公認したテニスシューズを使用する。
（３）ラケットは、連盟の公認マークが添付されたものを使用する
（４）背中のゼッケンは、日本ソフトテニス連盟仕様（県名、個人名、学校名）であること。また、必ず４か所で留めること。
14．組み合わせ中のミスプリントは原則として開会式までに大会本部に申し出ること。
15．コート外での練習は禁止する

競 技 上 の 注 意　＜個　人　戦＞

福岡県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部

１．競技は、現行の（財）日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」に準ずる。
２．マッチは７回ゲームとする。
３．コート割りについては雨天その他やむを得ない事情で変更することがある。
４．ベンチは審判台から見て左側を組み合わせ表の小さい番号とする。
５．アンパイアー（正審・副審）は、原則として各コートの第１試合のみ指定審判とし、第２試合以降は前試合の敗者が行うものとする。
６．進行がスムーズに行えるよう、次の事項を守ること。
（１）マッチ前の呼び出しは原則として行わないので、進行には十分注意し、次のマッチのプレーヤーは必ずベンチで待機すること。（前のマッチが終了し、アンパイヤーが用意してから５分経過してもプレーヤーが出場しないときは、棄権として処理される）
（２）マッチ前の練習は１分以内とする。但し進行によって行わないこともある。
（３）アンパイヤーの指示に従いプレーすること。
（４）連続的にプレーすること。パートナー同士の打ち合わせは、マッチの進行に支障がある場合は認めない。（規則第１５条）
（５）プレーヤーはボールの落下点を確認するためネットおよびネットの仮想延長上を超えてはならない。また、自陣の前であっても落下点に近寄らないこと。　（規則第４０条解説１７－２）
７．マッチ中、互いにマナーを尊重すること。相手を不快にする発声や過度のかけ声は禁じられている。（規則第１５条）
８．アンパイヤーに対する意義の申し立ては認めない。（規則第４０条）
９．マッチ中のコーチは、サイドチェンジおよびファイナルゲームに入る場合のみ、１分以内において認められる。
10．コーチする者は、フェンス内の指定位置（ベンチ）に入ることができるが、その場合は、次の事項を守らなければならない。
（１）指定位置（ベンチ）に入る者は１名とし、プレーヤーが在学する学校の学校長が認めた者とする。
（２）コーチは指定位置（ベンチ前）で競技規則に従って行うこと。
（３）マッチ終了前に指定位置（ベンチ）を離れた場合は、戻ることはできない。
（４）監督章を必ず付け、テニスシューズを履くこと。
11．選手変更は、専門委員に申し出て、競技委員長の承認を得ること。但し、初回戦終了後の変更は認めない。
12．競技用具及び服装等については、次の条件を守ること。（公認メーカーはハンドブックに記載）
（１）ユニフォームは、連盟が公認したメーカーのテニス用品を着用する。
（２）シューズは、連盟が公認したテニスシューズを使用する。
（３）ラケットは、連盟の公認マークが添付されたものを使用する。
（４）背中のゼッケンは、日本ソフトテニス連盟仕様（県名、個人名、学校名）であること。
また、必ず４か所で留めること。
13．組み合わせ中のミスプリントは原則として開会式までに大会本部に申し出ること。
14．コート外での練習は禁止する